

若宮商店会

どんな商店街？

福岡市東区にある若宮と舞松原、およびその周辺の住宅地を背景とし、若宮田交差点間のバス停沿いに自然発生的に誕生した商店街です。結成して50年以上の歴史があり、約50店舗の加盟店により地域住民の日常の買い物の場となっています。



飲食店同士の横の繋がりの強化、 来場してもらったお客様に向けてPRの強化のために

1. 商店街の課題

地域の買い物で人が集まる場所である「スーパーハローデイ」の閉店により買い物をする場が減ったことで、人の流動が変わりつつあり、ついで買いで個店に行く機会が減る傾向にあります。

2. 「元気わかみや屋台村」を開催

商店街の地域内の路上で飲食店等を並べた「屋台村」を開催しました。広報においては、折込チラシに頼らず、地域の合計13000世帯に対し、自治体公民館からの、配布と掲示を行いました。また、参加店によるチラシの配布も効果的であったと考えています。

若宮商店会だけではなく、隣接する八田商店会と土井商店会との共同開催としたため、より大きい規模での開催ができ、今後3地区で取り組んでいくきっかけとなったことは大きかったと思います。



3. 効果があったと思われること

同日に商店街のプレミアム付商品券の販売会を行い、1400冊を売り上げるなど、「商品券の販売」と「屋台村への誘客」が連動できたことは効果があったと思います。

4. 来街者の声・会員さんの声

「店舗の利益につながった」と考えている店主もあり、イベントの開催にやりがいを感じている加盟店が増えています。



5. 反省点や今後の取り組み

今回のイベントをきっかけに3地区の仲間意識が高まったと感じています。今後も商店街や地域の活性化のために、イベントの開催や商品券の販売などを行っていきたいと考えています。